



老年看護のためのアセスメント事例集

この番組は、老年看護のアセスメント演習のために作成された、映像による事例紹介番組です。本シリーズでは、傷病により入院した高齢者の入院前後の経過、生活状況、身体症状、入院中に生じる問題などを、モデルを使用して紹介し、高齢者特有の問題や症状とその看護について考え、学ぶことができます。高齢の患者への看護過程の学習、グループディスカッションなどにぜひ活用ください。

NEW DVD

■ DVD全3巻 ■ 各巻価格 ¥28,000 (本体価) + 税
■ セット価格 ¥84,000 (本体価) + 税



■ 原案監修：小長谷 百絵 上智大学 総合人間科学部看護学科 教授
■ 原案協力：三島 奈緒子 上智大学 総合人間科学部看護学科 助手
田中 奈津子 上智大学 総合人間科学部看護学科 助手



vol.1 認知症の患者事例

38分 NEW



大腿骨頸部骨折により入院した高齢女性

アルツハイマー型認知症と診断されている山内良子さん(82歳)は、転倒により大腿骨頸部を骨折し、人工骨頭置換術を受けることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、入院や安静の指示への理解など認知症の状態と対応、せん妄、リハビリテーションへの理解などに注目しながら、入院当日(手術2日前)から術後2日目、術後13日目の看護場面を紹介します。

vol.2 慢性心不全の患者事例

30分予定 制作中



2019年10月 発売予定
～急性増悪を繰り返す高齢男性～

慢性心不全を抱える太田吉郎さんは、心不全の急性増悪により3回目の入院をすることになりました。この事例では、アセスメントの視点として、急性期の呼吸苦への対応、身体の虚弱、生活習慣、心理状態、家族の介護状況などに注目しながら、入院当日からの看護場面を紹介します。

vol.3 パーキンソン病の患者事例

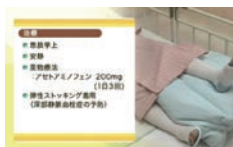
30分予定



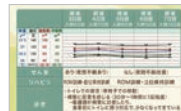
企画進行中

この巻では、パーキンソン病をもちながら在宅での療養を続けている高齢者が、誤嚥性肺炎により入院することになった事例を用いて、急性期の看護、嚥下機能の評価、栄養状態の評価、栄養摂取方法の選択への支援、家族支援などについての看護過程を考えていきます。

※企画進行中のため、内容に変更が生じることがあります。ご了承ください。



老年看護の事例をもとに、グループディスカッションや看護過程の展開に活用できる!



疾患への対応だけでなく、生活面も含めて、必要な看護を考えることができる!



加齢による身体の衰えや認知機能の低下など、高齢者特有の問題により生じる看護上の課題について検討できる!

